

特定非営利活動法人 ソーシャルデザインセンター淡路 [兵庫県推薦](兵庫県南あわじ市)

<http://awajisoda.jp/>

代表者名：木田 薫 団体構成員数：12名

ソーシャルデザインセンター淡路は、平成23年の団体設立以来、「だれもが仕事や役割を持ち、みんなが生き生きと笑顔で暮らせる淡路島に」という目標を掲げ、「だれも孤立しない、だれもが役割のある社会（地域）づくり」を実践するため、本団体の敷地内に建設した「島の学舎」を地域の拠点として、

「ひきこもり・不登校相談窓口事業」、「兵庫ひきこもり相談支援センター（淡路ランチ）事業」などの相談支援や、

「ジョブパートナー養成講座」など、障害者やひきこもりの者等の「就労弱者」が主体性をもって活躍できる場づくり、仕事づくりに関する支援を積極的に行っています。

ソーシャルデザインセンター淡路が行う事業は、特に社会で生きづらさを感じるなど悩みを持つ若者などを対象に、サポートをする側と受ける側の境界がない「地域の人づくり」という視点で、地元自治体や民間企業・団体などと築き上げてきた広いネットワークを生かした包括的な支援を行っており、設立6年目にして、センターが実施する事業への参加者が、述べ5,000名を超えるなど、地域で着実な活動を行っています。



「島の学校」の様子



「兵庫ひきこもり相談センター（淡路ランチ）地域ネットワーク会議」の様子



「ジョブパートナー養成講座」の様子

■選考委員のコメント

ソーシャルデザインセンター淡路は、ひきこもり、不登校、軽度発達障害などにより自立が困難な若者について、「人にあわせた仕事づくり」をめざしてジョブパートナーの寄り添い型のサポートのもと、地域の名産作りを行っています。地域の多くの主体と連携しながら、地域活性化と就労支援とを合せて実践している点が評価できます。

[受賞者からの一言]

この度は、栄えある賞をいただき心から感謝申し上げます。

今回の受賞で一番うれしかったのは私たちが支援している社会的弱者の彼・彼女たちがとても喜んだことです。そして私たちの応援団、ともに活動をしているみんなも自信となりこれからのさらなる意欲に繋がりました。

またこの受賞を機に関心を持ってくださる方もきっと増えることだと思います。こうしたことが何よりも社会の狭間で苦しんでいる社会的弱者やその家族の方々を、一人でも多く支える力になることでしょう。これからもより一層励んで参ります。本当にありがとうございました。



表彰状の授与